

「大規模災害時の復旧活動支援対策」発動

東海豪雨

被災者に避難勧告 災害廃棄物撤去に協会員活躍 と人不明



新川の堤防が決壊し、床下浸水
付近（宇前）

浸水2万7000戸 名古屋で堤防決壊

上矢作町で住民孤立 東濃、土砂崩れ相次ぐ

【名古屋11日電】東海地方で11日夕方から12日にかけて、観測史上記録的な豪雨に見舞われました。雷雨が停滞し、11日夕方から深夜にかけて雨足が強まり、1時間に100ミリという猛烈な雨が降りました。全体の雨量は400ミリを越え、この雨量は東海地方の月間降雨量の3倍近い雨が一晩に降ったことになります。

この豪雨により名古屋市の北部を流れる一級河川・新川の堤防が幅100メートルに渡って決壊。西枇杷島町と新川町の2つの町がまたたく間に濁流にのみこまれ床上浸水、町全体が壊滅状態になりました。また、名古屋市南部を流れる天白川では溢水した水で井の森町、古川町、野並等で2メートルの水位に達しました。この他にも数カ所で川が決壊し、愛知県の発表では床上浸水19,352棟、床下浸水38,596棟、死者5名、215,080世帯に避難勧告が出されました。

水が引いた14日（木）から被災地では災害廃棄物との戦いが始まりました。当協会では14日、愛知県からの要請を受け、全協会員に災害廃棄物撤去の支援を呼びかけ緊急体制に入りました。



災害廃棄物集積場の枇杷島公園への順番を待つ大型トラックの列

浸水4万棟超す 伊勢湾台風以来の被害

5人死亡、3人不明

東海豪雨、37万人に避難勧告

東海豪雨は、伊勢湾台風以来の被害を記録した。15日朝、名古屋市内の河川が氾濫し、市内の被害は、一晩の間に、約4万棟に上った。被害は、市内の中心部から、市外へも広がった。市内では、多くの家屋が浸水し、多くの車が水に流された。市内では、多くの人が避難した。市内では、多くの人が避難した。市内では、多くの人が避難した。



伊勢湾台風以来の被害を記録した。15日朝、名古屋市内の河川が氾濫し、市内の被害は、一晩の間に、約4万棟に上った。被害は、市内の中心部から、市外へも広がった。市内では、多くの家屋が浸水し、多くの車が水に流された。市内では、多くの人が避難した。市内では、多くの人が避難した。

一夜明けて町全体が浸水、豪雨の恐ろしさを知る

一級河川の決壊という記録的な雨量で名古屋市西区と隣り合せの愛知県西春日井郡西枇杷島町、新川町は濁流にのまれ、一夜明けて町全体が浸水し、水の中に浮かんでいる状態。建物の一階部分が完全に浸水し、逃げ遅れた住民の方が2階部分に避難し助けを求め、緊急要請を受けた自衛隊が出動し、ゴムボート等を使って逃げ遅れた人や孤立した住民の救助にあたり、おにぎりや飲み水を配るなど、住民やボランティアの人達も加わり、水が引く2日間にわたって必死の救援が続きました。名古屋南部の天白川や周辺の河川でも堤防の決壊や溢水で町が浸水し、死者こそ少なかったが、豪雨による被害は昭和34年の伊勢湾台風以来の大災害となりました

協会内に災害廃棄物撤去の災害対策本部を設置

水が引いた14日から西枇杷島町と新川町で

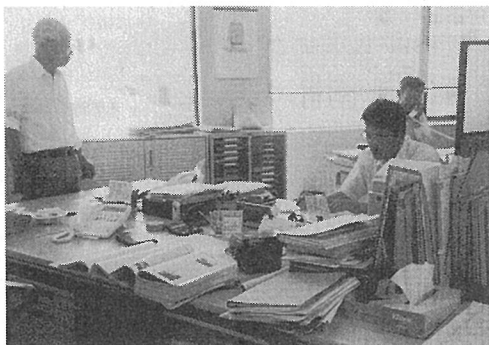
は、被災者がわが家に戻って本格的な復旧作業が始まりました。所によっては2メートルちかく浸水していたこともあり、町全体がまさに土色一色。冷蔵庫や洗濯機、テレビ等の家電製品をはじめ、布団、洋服、ベッド、タンス等の生活必需品のほとんどが全てごみとなってしまいました。また、この地域では中小零細企業の工場が多く、工作機械や多くの製造機械が水に浸かり、電子制御によるものも多く、使い物にならなくなっていました。自動車もほとんど冠水状態でそのまま放置され、廃棄物撤去の障害になりました。

愛知県は西枇杷島町の要請をうけて、町役場内に災害対策本部を設置。

当協会では14日、県の要請を受けて災害廃棄物処理の復旧活動支援対策規定に基づいて、近藤成章会長を本部長とする復旧対策本部を協会内に置き、協会員全員にファックスで応援を依頼。西枇杷島町役場の災害対策本部には災害廃棄物撤去のための対策本部が設けられ、この前線基地に協会員が常駐し、協会本部と連絡をとりながらトラック、重機の手配、撤去場所の指示などに追われ、食事もままならず、朝早くから夜おそくまで休日返上で作業が続きました。毎日午後7時には、県対策本部に全スタッフが集合し、今日の状況報告と翌日の撤去活動の打ち合わせが行われ、協会本部ではこれを受け、電話で協会員に連絡をとり、支援を依頼。トラックや重機の手配、収集場所、車両

このように、西枇杷島町は、西春日井郡西枇杷島町、新川町は濁流にのまれ、一夜明けて町全体が浸水し、水の中に浮かんでいる状態。建物の一階部分が完全に浸水し、逃げ遅れた住民の方が2階部分に避難し助けを求め、緊急要請を受けた自衛隊が出動し、ゴムボート等を使って逃げ遅れた人や孤立した住民の救助にあたり、おにぎりや飲み水を配るなど、住民やボランティアの人達も加わり、水が引く2日間にわたって必死の救援が続きました。

トン数、台数等さまざまな条件が重なり、また、ダンプや重機等においては燃料、作業員や交代要員の問題等、当初は緊急事態が初めてのことで多少混乱しましたが、日がたつに連れ情報が密になりうまく機能するようになりました。



災害対策本部が置かれた愛産協事務局

「大規模災害時の復旧活動支援対策規定」発動

先の阪神大震災を教訓に、平成10年12月に当協会と名古屋市との間で「地震等大規模災害時に発生する廃棄物の撤去・収集運搬及び処理・処分に関する協定」を締結。愛知県の災害対策計画の支援体制にも当協会が組み込まれ、愛知県全域をカバーすることとなり、今回の東海豪雨は初めての発動となり、大規模災害時の廃棄物処理問題が非常に重要な事柄であることを如実に示しました。



西枇杷島町役場内の県災害対策本部で作業手順を検討



連日、深夜遅くまで西枇杷島町役場県対策本部にて廃棄物撤去の合同ミーティングが行われた

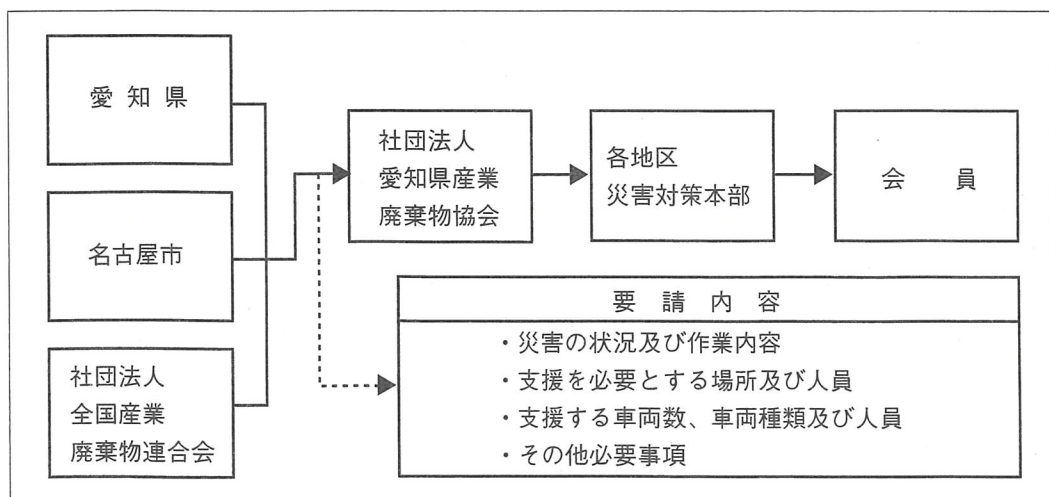
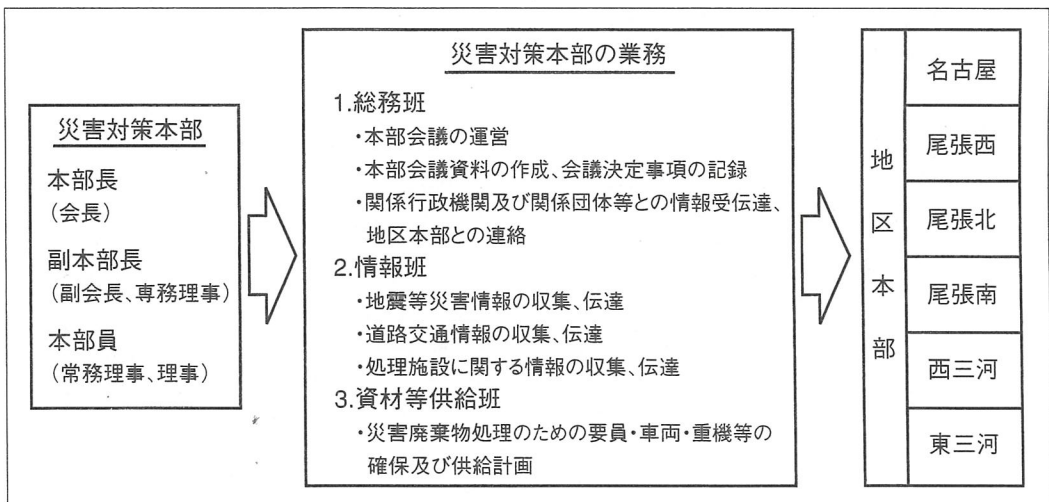


連日全体会議が開かれ対策を打ち合わせ



うず高く積まれた廃棄物の山が道路を塞ぐ

災害対策本部の組織図



公園も道路も空地も、すべて廃棄物の山に埋った

家財道具、生活用品のほとんど全てが廃棄物になるということがどんなに凄いことか町の様子をみて恐ろしさが伝わってきました。

14日から住民とボランティアによる家庭からのごみ出し作業が本格的にはじまり、あふれだした廃棄物で、道路や公園はまたたくまに埋めつくされました。また、あふれ出た廃棄物で道路がふさがれ、収集車や重機がなかなか前へ進むことができず、作業が難航しました。まず災害廃棄物の効率的撤去を図るため、メイン道路の廃棄物を優先的に撤去し、それから生活道路や住宅街の道へと回収を進めていきました。「早く家のごみを持って行って欲しい」等の苦情が殺到し、このままでは衛生面の問題も出てきました。そこで、まずパッカー車等小型の収集車で家の前に積まれた廃棄物を公園に集めることを優先し、

重機による大型ごみの収集も徐々に始まりました。

こうした作業が約10日間続けられ、町役場は9月24日(日)をもって災害廃棄物の収集を終了し、25日以後は通常のごみ回収に戻すことを住民に知らせました。

一方、収集された災害廃棄物は公園をうづめ、山になった廃棄物を撤去する大作戦が協会員、自衛隊の機動力で22日(金)から始まり



ありとあらゆる家財道具が廃棄物に



悪臭が漂い消毒におわれる名鉄下小田井駅前の上新公園の廃棄物の山



舗道は廃棄物の山で回収におわれる



浸水で書類等水に浸かった西枇杷島町役場



廃棄物の回収作業をする住民とボランティアの人々

全産連「インダスト」が取材に訪れる

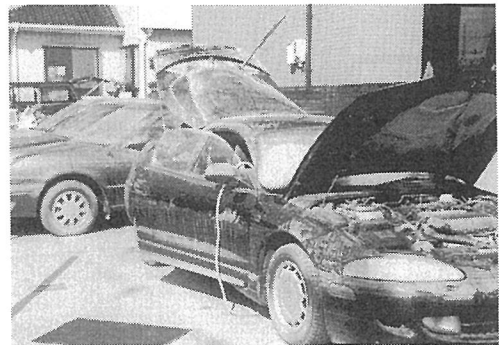
25日(月)、名鉄下小田井駅で降りるとまだ汚水の臭いと消毒液の混じった異様な臭いがし、通りに出されていた廃棄物はなくなっていました。ガラス戸や家具等を洗う人々が多くいて、商店は大部分閉じており、家の中を覗くと土壁の水に浸かった部分がなくなっており、中の骨組みだけが見える有様。道路は乾いた泥が白っぽくおおっており、散水車が水をまきながら路面を洗っていました。

裏道や、駐車場には廃車と貼紙がされて内部に泥が溜まった自動車があちらこちらに放置されていました。西枇杷島町役場前にボランティア受付が設けられ、多くの人々が登録、参加されて軍手やバケツ等を持ち、グループ毎に行動していました。

役場南の花咲公園には自衛隊やボランティアのテントが張られバケツやほうきなどが置かれ、さながら野戦場といったところ。

役場にはいると、なかは浸水により汚れた書類、地図等が机の上に山積みになされ、コピー機には泥がかぶり、壁には1.5m程の高さの所に浸水の後がくっきり残っていました。入り口脇には衣料品が積みれご自由にお持ち下さいと貼紙がしてあり、また消毒薬も無料で配っていました。

ロビーの一角に建設協会や愛産協の集合場所が設けられ、事務局の岡田弘氏、永一産商(株)神野悦夫氏が待機して、行政や建設協会等との打ち合わせや配車の手配等忙しくしていました。全産連「インダスト」記者もみえ、熱心に取材し、廃棄物集積所、西枇杷島町内を岡田氏の説明で見て回り、被害状況の凄さと廃棄物の山に驚いていました。



冠水し、泥にまみれた自動車

大型トラック1日 600台、休日 1000台、のべ 5800台による災 害廃棄物撤去作戦

西枇杷島町と新川町で集められた災害廃棄物は公園に集められ、各町内の廃棄物は24日で終了しましたが、公園に集められた廃棄物は腐敗し、悪臭もきつく衛生上早く処理する必要があり、対策本部では22日(金)夕方、早急に災害廃棄物を撤去するための会議が行われ、名古屋港南5区への一時保管が決まり、大型トラックで9月30日(土)までにすべての廃棄物を運搬する計画がスタートしました。自衛隊の派遣延長も決まり、協会員、自衛隊との連携により作業が始まりました。協会本部は会員と連絡をとり、連日トラックの手配におわれました。

災害廃棄物の集積場として最も大きかった枇杷島公園は北側から廃棄物を搬入し、南側から大型トラックによる搬出する態勢をとり、重機が廃棄物の山の上で三重の隊列を組んで作業を行い、放射状に広がって搬出路に



枇杷島公園前で廃棄物撤去の順番を待つトラックの列

は自衛隊の誘導でフロントガラスに災害廃棄物輸送のマークをつけたトラックが次々入り、わずか数分でごみを積み終え、災害ごみマニフェストを手渡され名古屋港南5区にピストン輸送。まさに戦場を思わせる光景でした。



小型収集車で町内のごみを収集し枇杷島公園に搬入



町内の災害廃棄物は枇杷島公園に集められ、協会員、自衛隊が一体となって名古屋港南5区へ運搬

愛知県が発行した災害ごみマニフェスト

愛知県 災害ごみマニフェスト (発出)		愛知県 災害ごみマニフェスト (受け取り)	
名称 西枇杷島	所在地 西枇杷島	名称 西枇杷島	所在地 西枇杷島
産出者 豊産協	産出者 豊産協	産出者 豊産協	産出者 豊産協
数量 1	数量 1	数量 1	数量 1
備考 名古屋港南5区入口ゲート	備考 名古屋港南5区入口ゲート	備考 名古屋港南5区入口ゲート	備考 名古屋港南5区入口ゲート



災害廃棄物運搬車両に貼られたマーク

名古屋港南5区入口ゲートで計量の順番を待つ大型トラックの列



災害廃棄物、愛知県内21市町村で74,600トン

東海豪雨による廃棄物で、最も被害規模が大きかった西枇杷島町で約24,000トン、これは町の5年分に相当します。新川町、大府市、名古屋市等2市7町から出た災害廃棄物は38,000トン、県内21市町村で計約74,600トンの量が出ました。

大型トラックによる撤去作業で、知多市の名古屋港南5区に運ばれ9月30日に運搬作業は終了しました。



西枇杷島町などから次々に運びこまれる廃棄物



名古屋港南5区に一時保管された廃棄物の山

搬入先の名古屋港南5区と 名古屋市南陽工場

・ 廃棄物の一時保管場所になっている名古屋港南5区に行き、愛知県臨海環境整備センター（ASEC）宇佐見公敏総務課長に話をお聞きしました。「南5区の埋立て処分場のうち第2工区は埋立てが終了し名港管理組合の管理地になっており、隣接する第3工区をASECとして産業廃棄物を埋立てています（管理型処分場）。今回の災害廃棄物の一時保管場所としては愛知県の要請を受け、名港管理組合の第2工区に16日から搬入され、トラックゲートでの計量等協力しており、アセックに埋立ててはいません。トラックの台数では通常アセックに搬入されるものは平均で200台/日。災害廃棄物は3往復で延べ約600台、総量は16日から23日までで西枇杷島町分だけで約15,000トンが搬入されました。26日までは自衛隊の災害派遣部隊も参加し、日が落ちると真っ暗になるため照明装置も設置して、夜10時まで作業しました。今は自衛隊も撤収し6時まで搬入しています。予定としては9月30日まで搬入し、年内には処理すると聞いています。選別、破碎、焼却後の埋立て等についての要請等はきいていません。」とのことでした。

搬入路、南5区への道路にはトラックが次から次へと連なり、22.3haの広大な土地に巨大な廃棄物の山が3つ、一部にはきちんと選別されて運ばれてきた不燃物の少し小さな山が3つできていました。

名古屋市と周辺の甚目寺町、春日町、新川町、西枇杷島町、師勝町、西春町の可燃ゴミの焼却をしている名古屋市南陽工場で板野正幸工場長の話では、普段周辺市町村からは20トンほどの廃棄物を焼却しているが、災害以来100トン程度増えているが災害廃棄物はその内どの程度占めているのかは分からない。名古屋市の災害廃棄物は船見処分場や大江破碎工場等に運ばれているのではないかとのことでした。



高さ5メートルを超える廃棄物の山がいくつもできた



東海豪雨で出た廃棄物は74600トンにのぼり、名古屋港南5区に運ばれ処理するまで一時保管されている

災害廃棄物撤去協力協会員

- | | | |
|----------------|----------------|-----------------|
| 愛知海運 (株) | 近藤産興 (株) | (有) 西尾浄化槽管理センター |
| 愛知海運産業 (株) | 近藤商事土木 (株) | 西松建設 (株) |
| (株) アグメント | (株) 近藤商店 | (有) 日英商会 |
| 旭建設 (株) | (有) 桜井建材 | (株) 日産ライフサービス |
| (株) 飛鳥工業 | 佐藤興業 | (株) 光 |
| (株) アメニティライフ | サトマサ (株) | 日の出衛生保繕 (株) |
| (有) 安城商事 | サンコーリサイクル (株) | フジ建材リース (株) |
| 市原建設興業 (株) | 三州建設 (株) | (有) 平成興業 |
| 伊藤建材 | 三洲土木 (株) | 豊栄化学 (株) |
| (株) 伊藤高次商店 | 三和工業 (株) | ホームックス (株) |
| (株) 井乃産 | (有) 嶋田重機興業 | (株) 星野産商 |
| (株) ウエスギ物産 | 昭栄金属 (株) | (株) 毎日商会 |
| (株) 上野清掃社 | (株) 新栄工業 | 前芝建材 (株) |
| 永一産商 (株) | 新生ユニオン (株) | (有) 丸公建材 |
| (有) エコサポート | 新船建設 (株) | (株) マルコー商会 |
| (株) エムエムアイ | (有) 杉本興業 | マルサ (株) |
| (株) おおたに商事 | (株) 杉山商店 | (有) 丸正しばけん興業 |
| (有) 岡富士運輸 | (株) 鈴鍵 | 丸太運輸 (株) |
| (株) 尾張クリーンパイプ | 誠美社工業 (株) | (株) 丸福 |
| (有) 尾張商事 | 成和环境 (株) | (有) 丸義商店 |
| (株) 海青 | 成和重建 (株) | 三河産業 (株) |
| (株) カイテック | 双和重機建設 (株) | 三石産業 (有) |
| 鹿島建設 (株) | 武山工業 (株) | ミヤマコーポレーション (株) |
| (有) 加藤土木解体 | (有) 只見建設 | (株) 村上工業 |
| 加山興業 (株) | (有) 立松産業 | (株) ムラカム |
| (有) 川野興業 | 中部工業 (株) | (株) 明輝クリーナー |
| (株) キトー | 辻清掃 (有) | (株) 明光開発 |
| 協材碎石 (株) | (株) ディーアイディー | (有) 森田商店 |
| (有) 協同輸送 | (株) ティーエスクリエイト | (株) 森部組ハツリ |
| (株) 近畿理研 | (有) 東海美化 | (株) ヤマゼン |
| (株) クリエイト創美社 | 東海舗道 (株) | 山田建材 |
| (有) クリーンサービス知多 | (有) 徳升建材総業 | (株) 山本建材 |
| 弘新建設 (株) | 徳倉建設 (株) | 吉永工業 (株) |
| (株) 光徳 | 寿和工業 (株) | (有) リサイクルリング産業 |
| 壽鉦業 (株) | (有) トモエ解体工業 | (株) リバイブ |
| (株) 近衛組 | (株) トヨジン | (有) 渡辺 |
| コメジ・ソシオ (株) | 豊田産棄 (株) | (五十音順、計110社) |